

一般質問発言通告書

発言順位 12番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年11月25日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 16番 宮下 知朗

質問事項1	年を重ねても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために
具体的内容	
総務省の公表する「統計からみた我が国の高齢者」によると、総人口が減少する中で高齢者人口は3,640万人、総人口に占める割合は29.1%と過去最多・最高となったとされているほか、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると総人口に占める高齢者人口は今後も上昇を続け、2040年には35.3%となると見込まれている。	
年を重ねても住み慣れた地域でいつまでも元気で、いきがい・やりがいを持って自分らしく暮らしていくことの出来るよう、福祉の更なる拡充に向けて以下について伺う。	
1 相談体制について伺う。	
2 地域での活動状況の現状を伺う。	
3 活動の活性化を促すために情報発信、マッチング等の取り組みについて見解を伺う。	
4 健康支援の取り組みとの連携について伺う。	
5 介護保険事業計画における施設整備の状況を伺う。	
6 地域の担い手育成について伺う。	
質問事項2	三島の活力・魅力を高める「共創」の実現を目指して
具体的内容	
第5次三島市総合計画にて示された「共創」の取り組みは、市民ニーズや社会課題の多様化・複雑化・高度化、人口減少や財源の逼迫が進み、市民の声に細やかに応えることが容易でなくなっている現状を打開するための新たな取り組みの1つになり得るものと考えており、結果として本市の活力・魅力を更に高めていく取り組みとなることを期待している。	
本市が進めていく共創の取り組みが、より意義のある取り組みとなるよう以下について伺う。	
1 三島市が目指す共創の取り組みの目指すべき姿について見解を伺う。	
2 庁内の体制整備状況を伺う。	
3 相互理解と目的の共有に向けた取り組みについて、見解を伺う。	
4 具現化していくための情報提供・発信について伺う。	
5 取り組みによる成果等の公開について伺う。	